

第59回（令和4年度第1回）学長選考・監察会議議事要録

日 時 令和4年7月22日（金） 経営協議会終了後
場 所 ホテル ガーデンパレス名古屋 2階 鼓の間
出席者 委員10名 （第1号委員：市野聖治委員、鶴飼裕之委員、加藤俊行委員、
坂野幸彦委員、福谷朋子委員）
（第2号委員：岩山 勉委員、鈴木裕子委員、丹藤博文委員、
児玉康一委員、板倉厚一委員）

開 会 15時43分

議事に先立ち、事務局から学長選考・監察会議規程等資料に基づき、学長選考・監察会議に関する概略説明があった。次いで、事務局から本日の日程の説明があった後、本日出席の委員数が確認され、会議成立が宣言された。

議 事

1. 議長、議長代行者の選出について

事務局から委員の任期及び成立要件について確認説明があり、次いで、学長選考・監察会議規程第5条第1項の規定に基づき、委員の互選により鶴飼裕之委員が議長に選出された。続いて、議長により本日出席の委員数が確認され、会議成立が宣言された。その後、学長選考・監察会議規程第5条第2項の規定に基づき、議長が市野聖治委員を議長代行者に指名した。

2. 学長の業績評価について

議長から提議され、次いで事務局から、今回の学長の業績評価の実施（業務執行状況の確認）に係る評価資料の説明があった。続いて、学長から「令和3年度の大学運営の取組及び業務の実績」等について、「令和3事業年度に係る業務の実績の概要」に基づき、特記事項、成果及び課題に関し発言があった後、委員から学長への質問等ヒアリングが行われ、委員から以下の意見等が出された。

- ・学長が愛知県内54すべての市町村教育委員会を訪問して各教育長と対面で意見交換を行ったことについては特筆すべき事項であると評価する。
- ・地方では教員が足りない現状があるが、愛知教育大学は国立大学の1大学として愛知県内のみならず全国的に教員を輩出するような仕組みがあってもよいかと思う。
- ・引き続き「愛知教育大学未来共創プラン」の推進を期待する。
- ・学生全員が教員を目指して入学してくる大学になってきている現状に対し、大学としても教員になりたい学生は全員教員になれるような環境整備はしておくべきであるが、途中で教員を目指せなくなった学生をどうやってフォローしていくかが課題である。

ヒアリング後、学長が議事会場から退出後、業務執行状況の確認が行われ、全体として、適切に執行されていると判断された。

なお、委員から学長への要望として、教員の処遇改善等に関し、文科省以外の省庁や政治家等に対し働きかけをしていく必要があると思っており、大学の外部委員として大学に協力でき

ればと思っているとの意見が出され、学長に申し伝えることとした。

また、確認結果の通知文については、原案を事務局で作成後、書面会議にて第60回学長選考・監察会議を開催し、内容確認することとした。

3. 今後の予定について

議長から提議され、事務局から、次回の会議は3月開催予定の経営協議会の開催日に合わせて開催したい旨説明があり、了承された。

閉 会 17時 8分